

1. 介護職は、利用者一人ひとりにあわせて介護を行います。
2. 介護職は、目が見えない人に話しかけるとき、先からだに  
触ってはいけません。
3. 自分で着替えることができない利用者は、同じ衣服のまま着替  
えなくてもよいです。
4. 加齢とともに免疫力は低下します。
5. 口から食することができない利用者でも、口腔ケアは必要です。
6. 利用者の汚れた髪や衣服は、他の人との関係を悪くします。
7. 介護職は、起き上がりの介護の後、利用者の体調の変化がな  
いか確認します。
8. 長い時間同じ姿勢でいると、褥瘡になりやすいです。
9. 介護職は利用者の食事介護のとき、あごが上に向いているこ  
とを確認します。
10. 高齢者は飲み込む力が弱くなるので、誤嚥しにくくなりま  
す。
11. 浴槽に入りやすくするため、シャワーチェアの高さは浴槽の  
高さより高くします。
12. 入浴は、からだを温め、血液の流れをよくします。

13. 利用者<sup>りようしゃ</sup>は、洋式便座<sup>ようしきべんざ</sup>で排便<sup>はいべん</sup>をするとき、前傾姿勢<sup>ぜんけいしせい</sup>になるとよい  
です。

14. 介護職<sup>かいごしょく</sup>は、利用者<sup>りようしゃ</sup>の居室<sup>きょしつ</sup>で排泄<sup>はいせつ</sup>の介護<sup>かいご</sup>をするとき、臭い<sup>におい</sup>や音<sup>おと</sup>に  
注意<sup>ちゅうい</sup>します。

15. 介護職<sup>かいごしょく</sup>は、ハンドリム<sup>も</sup>を持って車いす<sup>くるま</sup>を押<sup>お</sup>します。

16. 介護職<sup>かいごしょく</sup>は、利用者<sup>りようしゃ</sup>の皮膚<sup>ひふ</sup>が乾燥<sup>かんそう</sup>しないため、居室<sup>きょしつ</sup>の湿度<sup>しつど</sup>を  
調整<sup>ちようせい</sup>します。

17. これは歩行器<sup>ほこうき</sup>です。



18. 車いす<sup>くるま</sup>で坂道<sup>さかみち</sup>を上<sup>のぼ</sup>るときは、後ろ向き<sup>うしむ</sup>で、ゆっくり上<sup>のぼ</sup>りま  
す。

19. 事故<sup>じこ</sup>を見つけたときは、指示<sup>しじ</sup>がなかったら報告<sup>ほうこく</sup>しなくてもよい  
です。

20. 介護<sup>かいご</sup>で使用<sup>しよう</sup>した手袋<sup>てぶくろ</sup>が汚<sup>よご</sup>れていないときでも、また使<sup>つか</sup>うことが  
できません。

かいごぎのうじっしゅうひょうか しけん  
介護技能実習 評価試験  
Kaigo ginō jisshū hyōka shiken

(しよきゆう) がっか しけんもんだい かいとうようし  
【初級】学科試験問題 解答用紙  
【Shokyū】 Gakka shiken mondai kaitō yōshi

じゅけんばんごう 受検番号 Juken bangō	
なまえ かたかな 名前 (カタカナ) Namae (Katakana)	

もんだいばんごう 問題番号 Mondai yōshi	こたえ 答え Kotae
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

もんだいばんごう 問題番号 Mondai yōshi	こたえ 答え Kotae
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	